

部長名	学校施設整備担当部長
-----	------------

部のミッション
学びを通じてすべての人が自分の「みち」を見出し一人ひとりが望む未来に挑戦する力を育むはちおうじの教育
部のビジョン
①はちおうじっ子の「生きる力」の育成 ②学校・家庭・地域の連携・協働による教育力の向上

重要度が高い事務事業					
番号	施策番号	細施策番号	事業名	重要度が高いとする理由	事業実施課
1	17	1	学校施設の管理・運営	築40年を超える学校施設が約8割存在する状況において、児童・生徒への安全・安心な教育環境を確保や、いつ発生するか分からない災害時における避難所の機能を確保する。	学校施設課
2	17	1	学校施設の営繕工事	老朽化している施設であっても学びを決して止めることの無く、教育活動が円滑に実施することができるよう計画的かつ必要な施設改修を実施する。	学校施設課
3	17	1	第二小学校・第四中学校改築	老朽化が進行している両校を改築・統合することで、児童・生徒の安全の確保並びに9年間を通した学習活動の場が創出を図る。	学校施設課
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

1	施策番号	17	細施策番号	1	細施策名	教育環境の整備・充実	事業名	学校施設の管理・運営	
	目標設定にあたって重視した点		既存事業の再構築や事業手法の見直し						
	【目的】			【目標（2030年のあるべき姿）】			【目標（年度末のあるべき姿）】		
	<p>○小・中学校、義務教育学校において、施設の安全・安心を確保する。</p> <p>○小・中学校、義務教育学校において、教育活動が円滑に行えるよう環境整備を行う。</p> <p>○経営を意識した効果効率的な施設運営を行う。</p>			<p>○適正・適切な施設管理を行い、学校施設に起因する怪我等が発生していない。</p> <p>○学校再編が進み、学校施設の方向性が決定している。</p> <p>○学校現場でも本市の施策（ゼロカーボン、カスハラ対策等）が進んでいる。</p>			<p>○適正・適切な施設管理を行い、学校施設に起因する怪我等が発生していない。</p> <p>○学校施設のあり方（学校再編・教室不足・学校開放・特別支援等）について検討が進んでいる。また、部活動改革に合わせて、社会教育における施設管理の議論が進んでいる。</p> <p>○学校現場でも本市の施策（ゼロカーボン、カスハラ対策等）が進んでいる。</p>		
【現状】			【課題】			【事業内容】			
<p>○建物の老朽化が進んでいる。</p> <p>○建築時と比較すると児童・生徒数が大きく減少している。</p> <p>○R5・6年度のESCO事業により、全校の照明LED化と自動水栓化を行った。また、R7年度の電気契約は、再生可能エネルギーでの発電率100%とした。</p>			<p>○天井材の落下、雨漏り、漏水等、施設の老朽化に起因するトラブルが発生している。</p> <p>○学校施設の多様化（特別支援・不登校対応・学校開放等）が進むが、計画・仕組みが確立していない。</p> <p>○学校現場（校長・副校長・用務員）における施設管理の意識醸成が希薄。</p> <p>○学校施設の維持管理費が高額となっている。</p> <p>○学校施設が適正な規模・数量となっていない。</p> <p>○学校開放事業が社会教育の施策に連動していない。</p>			<p>○学校施設の維持管理及び機能保持のため、清掃、草刈・樹木剪定、各種法定内外の点検等を行う。</p> <p>○機械警備、非常通報、用地管理、学校開放等の委託契約を行う。</p> <p>○学校開放事業において電子錠や予約システム等を導入する（学校開放員の順次縮小）。</p>			
2	施策番号	17	細施策番号	1	細施策名	教育環境の整備・充実	事業名	学校施設の営繕工事	
	目標設定にあたって重視した点		既存事業の再構築や事業手法の見直し						
	【目的】			【目標（2030年のあるべき姿）】			【目標（年度末のあるべき姿）】		
	<p>○小・中学校、義務教育学校において、施設の安全・安心を確保する。</p> <p>○小・中学校、義務教育学校において、教育活動が円滑に行えるよう環境整備を行う。</p> <p>○経営を意識した効果効率的な施設運営を行う。</p> <p>○学校再編を踏まえた事業推進行う。</p>			<p>○適正・適切な施設管理を行い、学校施設に起因する怪我等が発生していない。</p> <p>○学校再編が進み、学校施設の方向性が決定している。</p> <p>○学校現場でも本市の施策（ゼロカーボン、カスハラ対策等）が進んでいる。</p>			<p>○国庫補助金・都補助金の財源を確実に確保したうえで、予算に計上した営繕工事を確実に実施している。</p> <p>○次年度の営繕工事について建築課と調整を進め、継続的に工事費が予算計上されている。</p>		
【現状】			【課題】			【事業内容】			
<p>○建物の老朽化が進んでいる。</p> <p>○学校、保護者から要望の多かったトイレ改修を進めている。</p> <p>○安全に資する非構造部材の外壁改修、校舎天井材等改修や老朽化に伴う各種改修工事を継続して実施している。</p>			<p>○天井材の落下、雨漏り、漏水等、施設の老朽化に起因するトラブルが発生している。</p> <p>○設備（教室の空調等）が更新時期を迎えている。</p> <p>○物価高騰により資材・工事単価が急上昇しているなか、限られた予算を有効に活用する必要がある。</p> <p>○建築業界、運輸業界等での働き方改革の浸透や人材不足の影響を受け、工期延長や入札不調が生じやすい。</p> <p>○学校用務員との連携を強化する必要がある。</p>			<p>○小・中学校、義務教育学校の学習環境及び安全を確保するため、国・都の補助金を活用し、老朽化した学校施設の改修工事を行う。</p> <p>○トイレ改修、屋上防水・外壁改修、空調整備、受変電設備更新、受水槽改修等の工事を実施する。</p> <p>○学校用務員との定例会議を新設して連携を強化する。</p>			

3	施策番号	17	細施策番号	1	細施策名	教育環境の整備・充実	事業名	第二小学校・第四中学校改築	
	目標設定にあたって重視した点		制度の見直しや長年の懸案事項の解決						
	【目的】			【目標（2030年のあるべき姿）】			【目標（年度末のあるべき姿）】		
	<p>○老朽化した学校を全面改築し、新たに義務教育学校を整備することで、施設の安全・安心の確保、教育活動・環境の充実を図る。</p> <p>併せて、学童保育所及び地域コミュニティスペースなど、学校と複合化を図ることで、施設マネジメントの推進を図る。</p> <p>○ゼロカーボンシティ宣言や、学校施設であることを踏まえ、環境性能の高い施設整備を図る。</p>			<p>○以下の工事が順調に竣工している。</p> <p>校舎新築工事：令和9年1月（竣工予定）</p> <p>四中体育館解体工事：令和9年11月（竣工予定）</p> <p>校庭整備工事：令和10年8月（竣工予定）</p> <p>二小解体工事：令和11年10月（竣工予定）</p> <p>○二小の跡地について利活用が行われている。</p>			<p>○令和9年4月の開校に向け、新校舎建設工事が順調に進んでいる。</p> <p>○第二小学校の跡地活用に向け、地域との話し合いが進んでいる。</p> <p>○建築業者との共創により、児童・生徒が工事に関心や関わりを持っている。</p>		
【現状】			【課題】			【事業内容】			
<p>○実施設計、仮設校舎建設、既存校舎の解体を経て、新校舎の建設を令和9年4月の開校に向けて、順調に進めている。</p> <p>○保護者、地域住民、学校関係者には、これまでも事業進捗に合わせ、その都度、説明会を実施。</p>			<p>○建築業界、運輸業界等での働き方改革の浸透、人材不足、物価高騰から資材・工事単価が上昇を続けており、その影響が大型建設事業であるが故、大きな影響となっている。</p> <p>○国際情勢の影響による資材等への調達への懸念がある。</p> <p>○第二小の跡地活用について地元から要望が出ており、契約資産部と連携して調整を進めている。</p>			<p>○児童・生徒の安全確保及び9年間を通じた効果的な教育・学習活動を展開するため、老朽化が進んでいる第二小・第四中学校を改築・統合し、新たに義務教育学校として整備する。</p> <p>○令和9年4月の開校に向けて工事の進捗を図り、既存校舎から引っ越しを行う。</p> <p>○次の工事となる解体工事に向けて契約を締結する。</p>			